



生徒指導だより

令和6年10月31日
岐阜北高等学校生徒指導部

1. ものを大切にす

日本全国の忘れ物保管センターによると、遺失届出率はわずか1%程度、返却率は30%程度とか。日本の良さ文化の一つとされてきた「モットイナイ精神」。もういつの間にか、どこかに置き忘れられているような気がしています。

本校でも忘れ物・落とし物が少ないとは言いがたい…。もっと残念なのは、長い間誰も取りに来ず、そのまま放置されているものが多いという事実。なぜ持ち主が現れないのでしょうか？ それには、次のような要因があると私は考えます。**①そもそも落としたこと・失くしたことに気付かない。②代わりのものが用意できるので、そのままにしまう。**

私は幼少期、祖母から「ものを大切にしろ。」とよく言われました。そして、「なぜものを大切にしなければいけないのか。ものは大切にされないと泣きます。ものを作った人は、自分が作ったものを大切にしてもらえないと悲しみます。悲しい思いを人にさせないように、自分が悲しい思いをしないように、ものを大切にしなければいけない。」このように言われてたことを覚えています。ものがあふれる豊かな時代に生きているみなさんは「ものが泣いている。作っている人が悲しんでいる。」ということは理解できないかもしれません。

しかし、こうした目に見えないものを見ようとする、考えようとする、周囲に対する目配り・心配りをもって生活することは**スクールポリシー“荒野をひらく探究人”**に成長するために必要な価値観の一つではないでしょうか。



「ものを大切にす」ことは「SDGs 目標12 つくる責任 つかう責任」に基づく行動だと私は思います。SDGsは国や企業が取り組む特別なものではなく、私たち一人ひとりにも「自分ごと」としてふだんの生活の中でできることはたくさんあります。「あいさつと笑顔はどンドンいっぱい」、**「忘れもの・落としものはどンドン減っていく」**、そんな岐阜北高校になってほしいと私は思います。



あなたは どう 思いますか？

2. 学校での忘れ物・落とし物について(保護者の皆様へのお願い)

学校のあちこちで忘れられた落とし物が生徒指導室に届けられ、陳列棚で保管しています。タオルやペン、弁当箱や水筒など普段必要とするものだけでなく、中には時計など高価で大切なものもあります。なかなか引き取りに来ないため、いつまでも保管されているものが増えてきています。本校では、下記に示す対応をしています。保護者の皆様のご理解とご家庭におかれましてはご指導を何卒お願いいたします。



【生徒昇降口に設置】

【お願いと対応について】

- ①まず、忘れ物・落とし物をしないように今一度ご指導をお願いするとともに、忘れ物・落とし物は大切な財産であることを各ご家庭で再確認していただきたいと思ひます。そのために、持ち物には必ず記名をするようにしてください。
※記名があるものは、学年・組がなくとも名簿などから持ち主を探すことができます。そして、ほとんどの場合、持ち主の元に戻っていきます。小さなものにまで記名することは大変なことと思ひますが、どうか所有物に記名をお願いします。
- ②生徒昇降口に設置している陳列棚に忘れ物・落とし物を生徒が確認できるように一時的に保管しています。持ち主が見つからない場合は、たいへん残念ですが、学校で処分させていただきます。
- ③その場合、学校での保管期間については、おおよそ三か月間を目安とします。例えば、10月中旬に学校が拾得したものについては1月中まで陳列し、2月には処分します。

※できる限り処分せず、物を大切にする心を育みたいと思ひます。何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。